

演題名	社会福祉法人不二健育会における光熱水費の削減とその効果		
施設名	特別養護老人ホーム ケアポート板橋	(ふりがな) 発表者(職種)	(たかはし じゅんこ) 高橋 潤子(事務員)
(ふりがな) チーム名	(カリキュレーター) Calculator		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	施策実行型		
改善しようとした 問題課題	物価高騰による経費削減策を様々講じているものの、その一つひとつが効果に繋がっているという認識を、全職員が持つ「Ourteam経営」にはまだ到達できていないと考える。成果としては総合評価とはなるものの、数値化できその効果を検証できる経費削減項目を選定し、全部署で取り組むこととした。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 光熱水費に対する削減対策を全部署で講じ (目標値) 昨年度 同月対象月比減額を目指し、年度計にて減額となっている		
実施した対策	【実施対策】 ・全部署における光熱水費削減策を立案し、実践していく  【対策背景】 ・光熱水費が部門においてどのような場面で使用されているかを可視化する ・部署によって電気・水道・ガスの使用場面及び用途が異なる為、部署連携によって相乗効果を出す ことができるのではないか ・削減により新たな波及効果を見出すことができるのではないか		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前・実施後比較) R4年度-R5年度 舟渡拠点 電気▲388千円 水道+1,155 ガス▲1,401千円 東坂下拠点 電気▲32千円 水道+218 ガス▲12千円		
歯止めと 標準化	・各部門における項目(電気・水道・ガス)におけるKPIを可視化する ・削減対策を習慣化する為、各部署会議体にて使用状況の確認を行う ・組織として抜本的に削減できる対策を講じていく(LED化・節水弁等) ・物価高騰補助金の申請を確実に実践していく ・使用量及び金額を掲示し、注意喚起を行っていく(各部門会議体でも共有)		
活動の種類 ※複数選択可	②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 高橋潤子 事務員
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門 ④その他		2 島村健央 事務員
活動期間	R5. 6/1～R6.6/30		3 小西誠之 介護士
リーダー名 (職種)	島村健央(事務員)		4 新堀成江 看護師
活動回数	12 回		5 鈴木穰 介護支援専門員
			6 滝本淳 介護支援専門員
		7 黒沢光 介護士	
		8 三浦ルミ 管理栄養士	
		9 齊藤潤 介護士	
		10 平田敏理 介護士	
		11 吉田宗平 介護士	
		12	
		13	

## 【テーマの選定】

・経費削減のテーマを各部門において選出し、部門目標・緊急度・重要度の観点より「光熱水費の削減」を事務局取り纏めにて、全部署で取り組むこととした。

評価点	×1 ウエイト CSの向上		施設理念 取り組み たい テーマ	評価項目	×2 ウエイト付け 改善の要求度					×1 解決可能		評価点	総合点
	業務改善の 向上	サービスの 向上			利用者 ニーズ	部門 目標	緊急 度	重要 度	期間 内終了	取 り や す さ の			
											○		
6	○	○	光熱水費の削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	46	52	
2	△	△	オムツ使用量の削減	◎	○	△	◎	○	○	△	32	34	
2	△	△	残業時間の削減	△	◎	○	○	○	○	△	28	30	
4	△	○	コピー用紙枚数の削減	◎	◎	◎	◎	△	△	△	42	46	
4	○	△	リネン使用量の削減	△	○	○	◎	○	△	△	28	32	
2	△	△	食料ロスの撲滅	○	△	△	△	△	△	△	14	16	
4	△	○	医療用品費の削減	◎	◎	◎	◎	△	△	△	42	46	

◎5点 ○3点 △1点

決定!

## 【現状の把握と対策の狙いどころ】【目標設定】

・電気、ガス、水道3種における現状把握と狙いどころを設定し、目標設定を実施する

### ③現状の把握と対策の狙いどころ

- ◇ **電気料金** ➡ 基本単価上昇に対する、具体的削減対策の効果検証
- ◇ **ガス料金** ➡ 使用用途の確認 使用制限可能であるかの現状把握とその対策
- ◇ **水道料金** ➡ 通所介護利用者増に伴う、経費増額分の費用対効果検証

### GOAL SETTING | ③目標設定

- ◇ **何を** ➡ 拠点別の光熱水費 令和4年実績に対する令和5年実績差異を
  - ◇ **いつまでに** ➡ 単月ごとに比較し、
  - ◇ **どうする** ➡ 前年度対比 使用量・金額のマイナスを実現させる
- 【根拠】 電気…令和4年5月 18%基本料値上 ・ 令和5年4月 6%値上  
令和5年10月 更に3%基本使用料の値上げへ如何に対応するか  
水道…稼働増に伴い、使用量及び金額も上昇している

## 【方策展開系統図】

・重要要因に対し三次対策まで立案し、点数化しながら10点以上を採用。対策を講じる

### ④方策展開系統図

○5点 △3点 ×1点

重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実用性	時間	採用
光熱水費が増額となっている	使用方法を見直す	無駄遣いを無くす	入浴・調理時の水使用量の削減	○	○	○	15
			業務終了後の速やかな消灯	○	○	○	15
		使用量を減らす	業務用乾燥機の使用頻度	○	○	△	13
			エアコン運用タイマー設定	△	△	△	9
			使用時間を減らす	19時以降の残業は総合事務所で	○	△	○
	20時以降のフロア電気消灯	△		○	○	11	
	単価を下げる	業者を見直す	電気会社の情報収集	○	×	△	9



